

6月26日 訂正

1. インフルエンザ

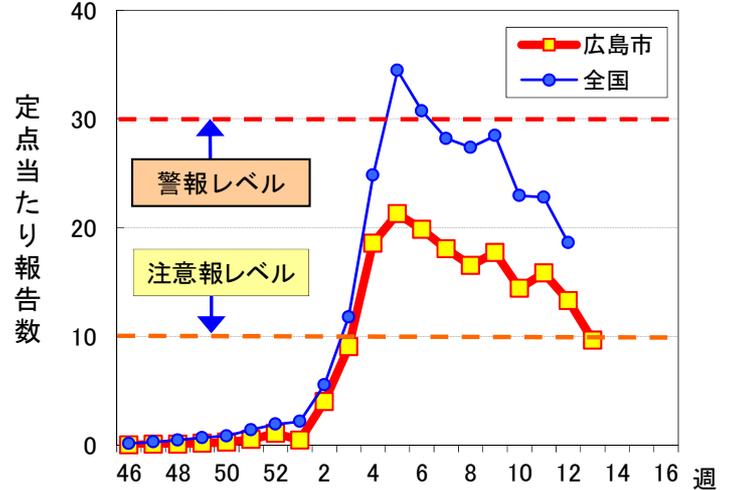
定点当たり報告数は9.62人と、2週連続して減少し、注意報レベル(定点当たり10.0人)を下回りました。

報告数の減少は、学校が春休みに入った影響もあると思われますが、春休み後に再び増加し、小規模な流行が5月頃まで続く傾向がみられますので、手洗い・うがいの励行を心がけるなど、引き続き感染予防に注意しましょう。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり報告数は8.63人と、ほぼ横ばいで推移しています。例年3月から5月にかけて乳幼児を中心に、ロタウイルスを原因とする感染性胃腸炎が多くなりますので、手洗いの徹底、食品の十分な加熱など、感染予防対策を心がけましょう。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	356	9.62	5.00	↘	小児科	流行性耳下腺炎	15	0.63	0.56	↑
小児科	咽頭結膜熱	16	0.67	0.26	→	小児科	RSウイルス感染症	2	0.08	0.11	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	1.88	1.32	↘	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	207	8.63	8.41	→	眼科	流行性角結膜炎	4	0.50	0.73	
	水痘	22	0.92	1.13	↘	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	3	0.13	0.47			無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.20			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.23	
	突発性発しん	11	0.46	0.39			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.13			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29		
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.02							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	45	女性(50歳代)・1人、男性(80歳代)・1人

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第9週 第10週 第11週 第12週 第13週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
			273	24	4	1	15	-	-	14	6	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	2
		第9週	654	8	49	273	24	4	1	15	-	-	14	6	1	5	-	-	-	-	-	2
		第10週	533	13	47	259	17	-	-	9	2	1	14	6	-	3	-	1	-	-	-	1
		第11週	585	10	45	216	11	2	-	11	-	-	11	3	-	10	-	1	-	-	-	2
		第12週	491	15	52	208	19	-	-	4	-	1	6	3	-	5	-	-	-	-	-	6
		第13週	356	16	45	207	22	3	1	11	-	2	15	2	-	4	-	-	-	-	-	2
定点当たり	広島市	第9週	17.68	0.33	2.04	11.38	1.00	0.17	0.04	0.63	-	-	0.58	0.25	0.13	0.63	-	-	-	-	-	0.29
		第10週	14.41	0.54	1.96	10.79	0.71	-	-	0.38	0.08	0.04	0.58	0.25	-	0.38	-	0.14	-	-	-	0.14
		第11週	15.81	0.42	1.88	9.00	0.46	0.08	-	0.46	-	-	0.46	0.13	-	1.25	-	0.14	-	-	-	0.29
		第12週	13.27	0.63	2.17	8.67	0.79	-	-	0.17	-	0.04	0.25	0.13	-	0.63	-	-	-	-	-	0.86
		第13週	9.62	0.67	1.88	8.63	0.92	0.13	0.04	0.46	-	0.08	0.63	0.08	-	0.50	-	-	-	-	-	0.29
	全国	第11週	22.79	0.32	2.15	6.74	0.96	0.09	0.13	0.42	0.01	0.02	0.23	0.25	0.02	0.51	0.02	0.04	0.21	0.01	0.01	0.18
		第12週	18.59	0.31	1.83	5.87	0.88	0.08	0.11	0.42	0.01	0.01	0.20	0.19	0.02	0.46	0.01	0.03	0.17	0.02	0.02	0.28

## ■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

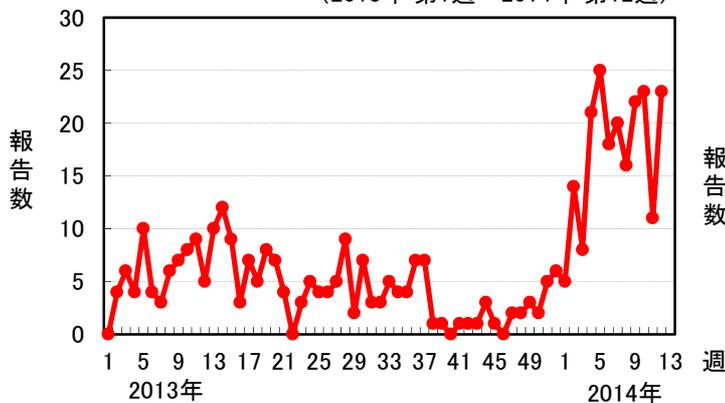
診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
百日咳	レプリーゼ 無呼吸	0	女	2014/03/05	鼻汁	百日咳菌
その他の呼吸器疾患	発熱(39.3) 肺炎	1	男	2014/02/15	糞便	エコーウイルス11型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## ★ 麻しん(はしか)が全国で増加しています!

### 全国の麻しん週別報告数

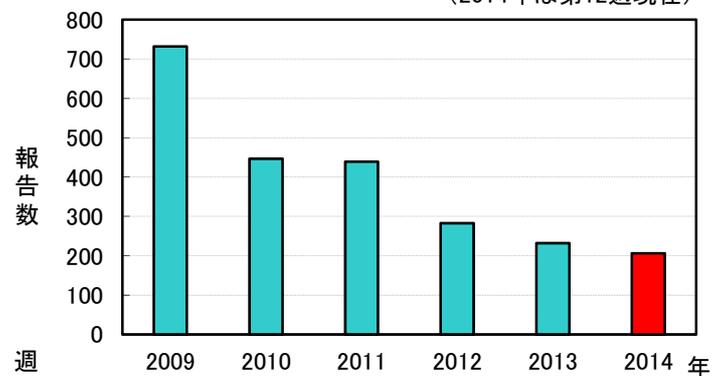
(2013年 第1週～2014年 第12週)



6月26日グラフ↓を訂正

### 全国の麻しん年間報告数の推移

(2014年は第12週現在)



全国の2014年の麻しん報告数は、第12週現在で206件となっており、昨年同時期の報告数(73件)を大幅に上回っています。また、広島市では、今年は第13週現在で1件報告されています。

麻しんは麻疹ウイルスによって起こる病気で、発熱と発しんが主な症状です。感染力は大変強く、発熱が1週間以上続き、肺炎や脳炎などの合併症を発生する割合も高く、比較的症状の重い病気です。

麻しんには特効薬はなく、感染を予防するには予防接種が最も効果的です。定期予防接種(無料)の接種対象年齢になったら、早めに予防接種を受けましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

#### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail [ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp](mailto:ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp)

2014年第13週(3月24日～3月30日)